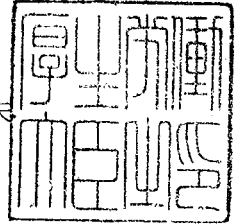


厚生労働省発薬食第0216053号

平成19年2月16日

薬事・食品衛生審議会会長
望月正隆 殿

厚生労働大臣 柳澤伯夫



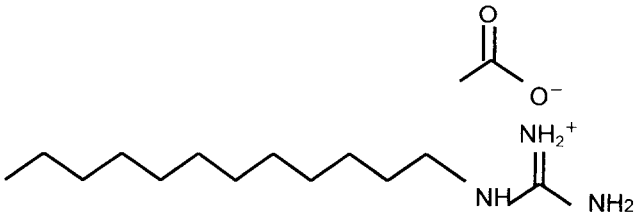
諮 問 書

下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和25年法律第303号）第23条の2の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

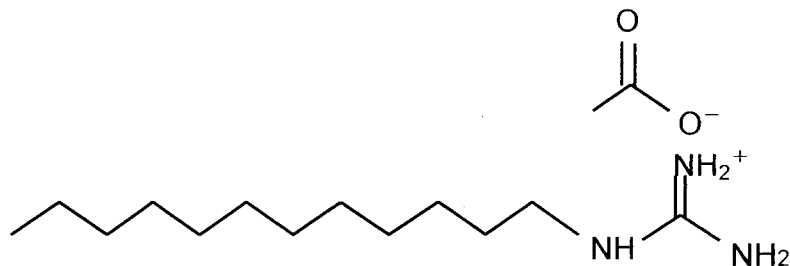
記

1-ドデシルジアニジニウム=アセタート（別名：ドジン）及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく毒物又は劇物の指定について

物理的・化学的性質

項目	
名称	1-ドデシルグアニジニウム＝アセタート
構造式	
化学式	$C_{15}H_{33}N_3O_2$
CAS No.	2439-10-3
化審法番号	(2)-1775 と (2)-688
分子量	287.4
性状	若干黄色かかった微粒粉末
沸点	133.2°C
融点	約 200°C で分解
密度	0.983 g/cm ³ (20°C)
蒸気圧	< 5.49 × 10 ⁻⁶ Pa (50°C)
水溶解度	0.93 g/L (20°C、pH=6.9)
安定性	常温で安定
反応性	なし
その他	

1-ドデシルグアニジニウム＝アセタート(別名:ドジン)及びこれを含有する製剤の
毒物及び劇物取締法に基づく毒物又は劇物の指定について



名称

(英語名) 1-Dodecylguanidinium acetate

(日本名) 1-ドデシルグアニジニウム＝アセタート

(別名) ドジン(Dodine: ISO)

経緯

上記物質はまだ日本で農薬登録はしていない物質であるが、今般、原体及び製剤の毒性試験データが提出されたため、毒物及び劇物の指定の検討を行うものである。

用途

農薬(殺菌剤)

物理化学的性状

別紙1を参照

毒性

別紙2を参照

事務局案

1-ドデシルグアニジニウム＝アセタート及びこれを含有する製剤(ただし、1-ドデシルグアニジニウム＝アセタート65%以下を含有するものを除く。)は、「毒物」に指定し、1-ドデシルグアニジニウム＝アセタート65%以下を含有する製剤は、「劇物」に指定することが適当と思われる。

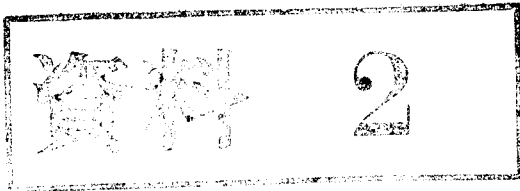
毒性

原体

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂830mg/kg ♀817mg/kg	GLP(1999)
	マウス	LD ₅₀ : >♂♀500mg/kg	GLP(1985)
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂♀>5000mg/kg	GLP(1999)
急性吸入毒性 (ダスト)	ラット	LC ₅₀ : ♂0.47mg/L ♀0.44mg/L	GLP(1999)
皮膚刺激性/腐食性	ウサギ	軽度の刺激性	GLP(1999)
目刺激性/腐食性	ウサギ	重度の刺激性	GLP(1999)

65%製剤

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : 1000mg/kg	GLP(1999)
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂♀>2000mg/kg	GLP(1999)
急性吸入毒性 (ダスト)	ラット	LC ₅₀ : ♂1.26mg/L ♀0.959mg/L	GLP(1999)
皮膚刺激性/腐食性	ウサギ	軽度	GLP(1999)
目刺激性/腐食性	ウサギ	重度	GLP(1999)



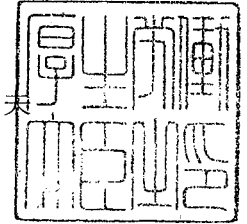
厚生労働省発薬食第0216054号

平成19年2月16日

薬事・食品衛生審議会会長

望月正隆 殿

厚生労働大臣 柳澤伯夫



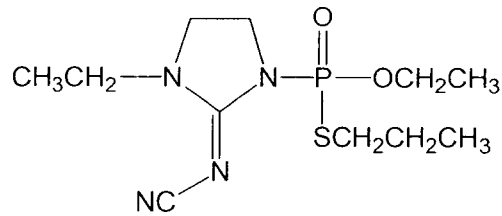
諮 問 書

下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和25年法律第303号）第23条の2の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

記

0-エチル-S-プロピル=[(2E)-2-(シアノイミノ)-3-エチルイミダゾリジン-1-イル]ホスホノチオアート（別名：イミシアホス）及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく毒物又は劇物の指定について

O・エチル=S・プロピル=[(2E)-2-(シアノイミノ)-3-エチルイミダゾリジン-1-イル]ホスホノチオアート (別名：イミシアホス) 及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく毒物又は劇物の指定について



名称

(英語名) O-ethyl S-propyl [(2E)-2-(cyanoimino)-3-ethylimidazolidin-1-yl] phosphonothioate

(日本名) O・エチル=S・プロピル=[(2E)-2-(シアノイミノ)-3-エチルイミダゾリジン-1-イル]ホスホノチオアート

(別名) イミシアホス (imicyafos (ISO 申請中))

経緯

上記化学物質は、新規農薬として農薬取締法に基づく農薬登録の申請があったことに伴い、毒物又は劇物として該当性の照会を農林水産省から受けたものである。

物理化学的性状

別紙 1 を参照

毒性

別紙 2 を参照

事務局対応案

O・エチル=S・プロピル=[(2E)-2-(シアノイミノ)-3-エチルイミダゾリジン-1-イル]ホスホノチオアート (別名：イミシアホス) 及びこれを含有する製剤 (ただし、O・エチル=S・プロピル=[(2E)-2-(シアノイミノ)-3-エチルイミダゾリジン-1-イル]ホスホノチオアート 1. 5%以下を含有するものを除く。) は、「劇物」に指定することが適当と思われる。

物理的・化学的性質（原体）

名称	(英語名) O-ethyl S-propyl [(2E)-2-(cyanoimino)-3-ethylimidazolidin-1-yl] phosphonothioate (日本名) O-エチル=S-プロピル=[(2E)-2-(シアノイミノ)-3-エチルイミダゾリジン-1-イル]ホスホノチオアート (別名) イミシアホス (imicyafos (ISO 申請中))				
CAS 番号	140163-89-9				
分子式	C ₁₁ H ₂₁ N ₄ O ₂ PS				
分子量	304.35				
物理化学的性状					
性状	透明液体				
沸点 (°C)	測定不能				
融点 (°C)	-53.3°C~-50.5°C				
密度 (g/cm ³)	1.198 g/cm ³ (20°C)				
蒸気圧 (20°C)	1.9x 10 ⁻⁷ Pa (25°C)				
溶解性	n-ヘプタン		93mg/L (20°C)		
	1,2-ジクロロメタン		> 1000g/L (20°C)		
	メタノール		> 1000g/L (20°C)		
	アセトン		> 1000g/L (20°C)		
	p-キシレン		> 1000g/L (20°C)		
	酢酸エチル		> 1000g/L (20°C)		
水溶解度	77.63 g/L (20°C、pH4.5)				
安定性	熱安定性		174.5~225.8°Cで分解		
	加水分解		pH 4 : DT ₅₀ =179 日 (25°C) pH 7 : DT ₅₀ =178 日 (25°C) pH 9 : DT ₅₀ =8.0 日 (25°C)		
	水中光分解	緩衝液	光照射	DT ₅₀ =255 日	25°C、325.2 W/m ² (300~800nm)
			暗所	DT ₅₀ =238 日	
		自然水	光照射	DT ₅₀ =22 日	25°C、324.0 W/m ² (300~800nm)
			暗所	DT ₅₀ =62 日	
反応性	通常の条件で無し				
揮発性	無し				
引火性及び発火性	通常の条件で無し				

原体

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂♀ 81.3 mg/kg	GLP (報告 : 2000 年)
	マウス	LD ₅₀ : ♂♀ 92.3mg/kg	
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂♀ >2000 mg/kg	GLP (報告 : 2000,2002 年)
急性吸入毒性 (ダスト)	ラット	LC ₅₀ : ♂ 1.83mg/L ♀ 2.16mg/L	GLP (報告 : 2002 年)
皮膚刺激性/ 腐食性試験	—	—	—
眼刺激性/ 腐食性試験	—	—	—

1. 5%製剤

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : > 2000mg/kg	GLP (報告 : 2003 年)
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : >2000 mg/kg	GLP (報告 : 2003 年)
急性吸入毒性	—	—	—
皮膚刺激性/ 腐食性試験	ウサギ	刺激性なし	GLP (報告 : 2003 年)
眼刺激性/ 腐食性試験	ウサギ	軽微な刺激性	GLP (報告 : 2003 年)